

かこみち

概要

対象地区の現状として、車主体の移動により人の動きにかなり制限がかかってしまっている点、過去を重んじているとは言いがたく、駅前の一等地に県庁舎や警察本部が大きく構えてしまっている点が、まず挙げられる。そこで、「過去」「道」「小道」「囲み」という四つの主題を含んだ「かこみち」というテーマの基、ネットワーク整備を主体とする線的な計画を行う。これによって、地域に根付き一体となった街、訪れた人にも福井市の良さを体感できる街をつくる。

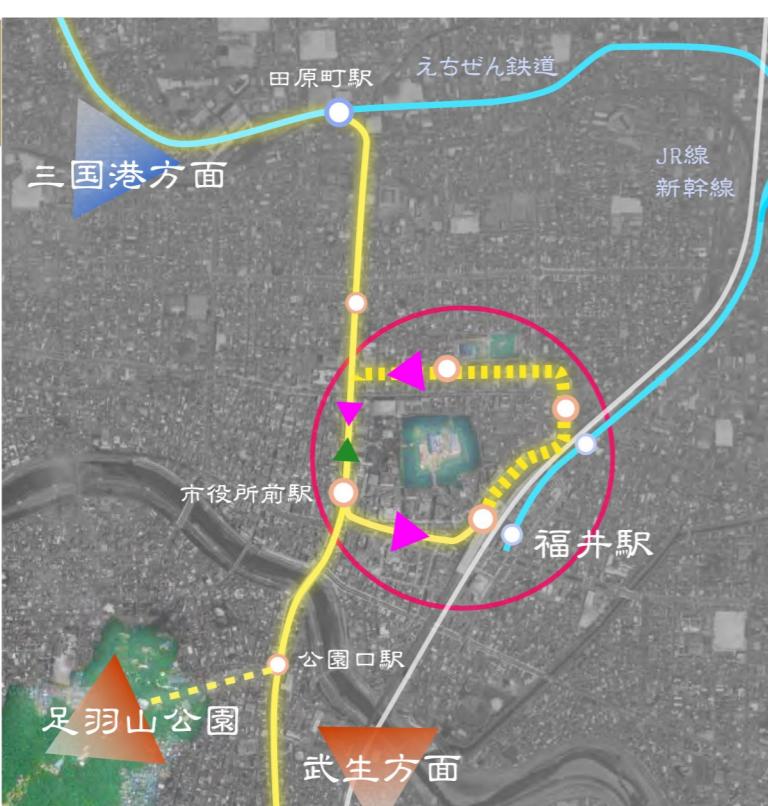


未知のネットワーク

市中心部と郊外を結ぶ鉄道のネットワークを充実させる。

■福井城周辺を囲うように鉄道を延伸する。市中心部に駅を増やすことにより、歩行者が歩きやすい未知と出逢える街に。

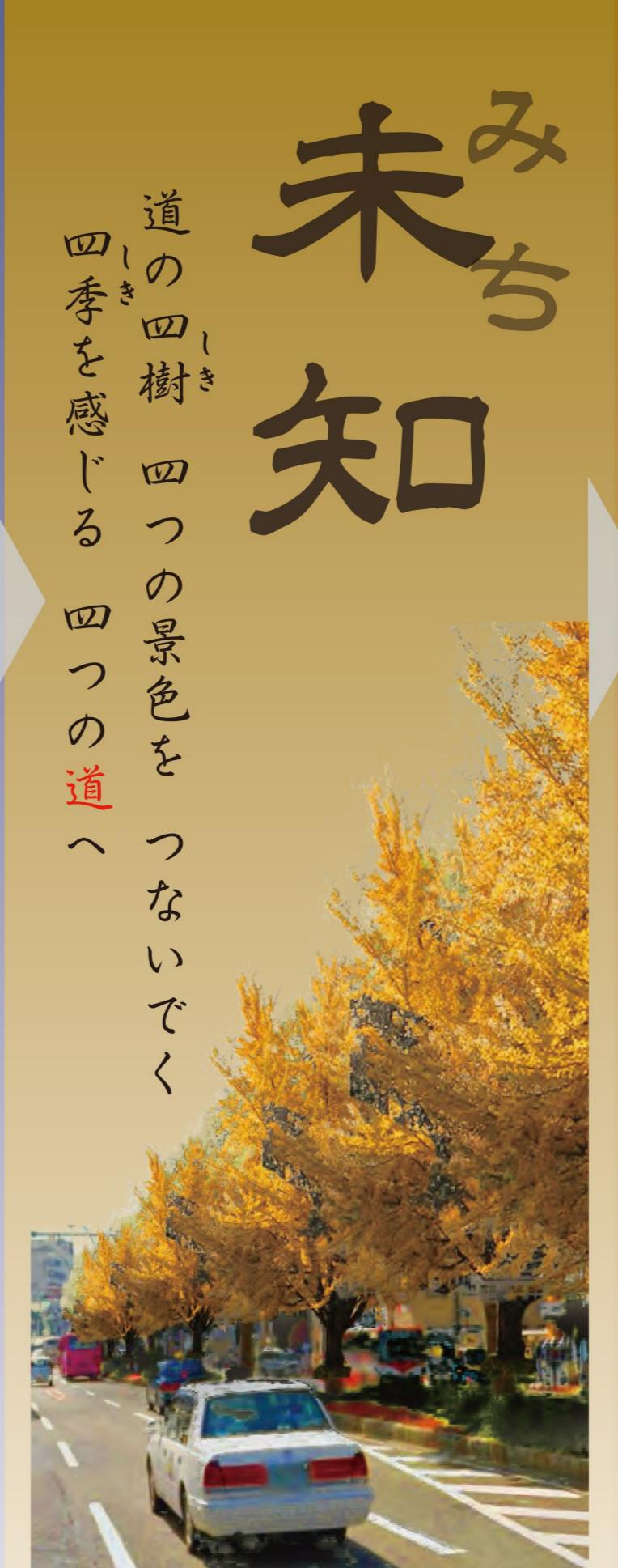
■将来的にはえちぜん鉄道への直通、足羽山公園への延伸により、新たな過去と緑をつなぐネットワークを形成。



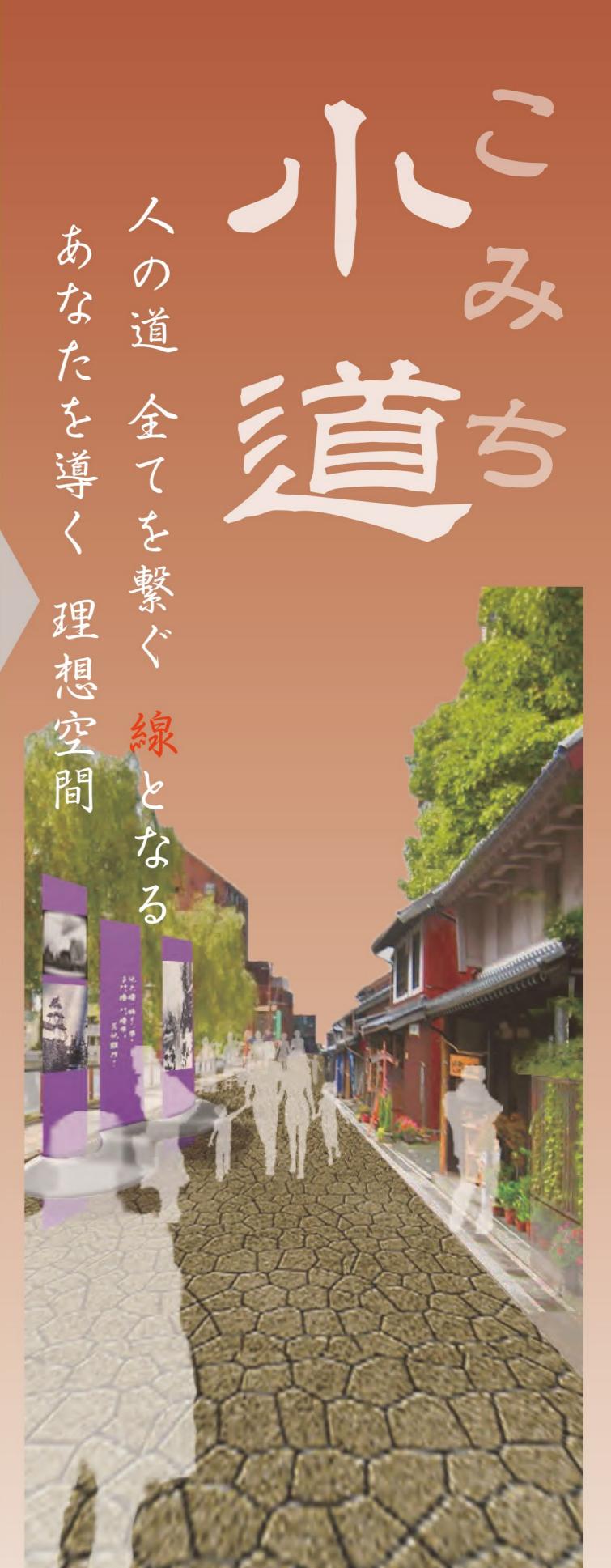
象徴（シンボル）復元により、
福井の過去が再びここに甦る



時を越え過去へとつなぐ
福の井結び人を繋げる



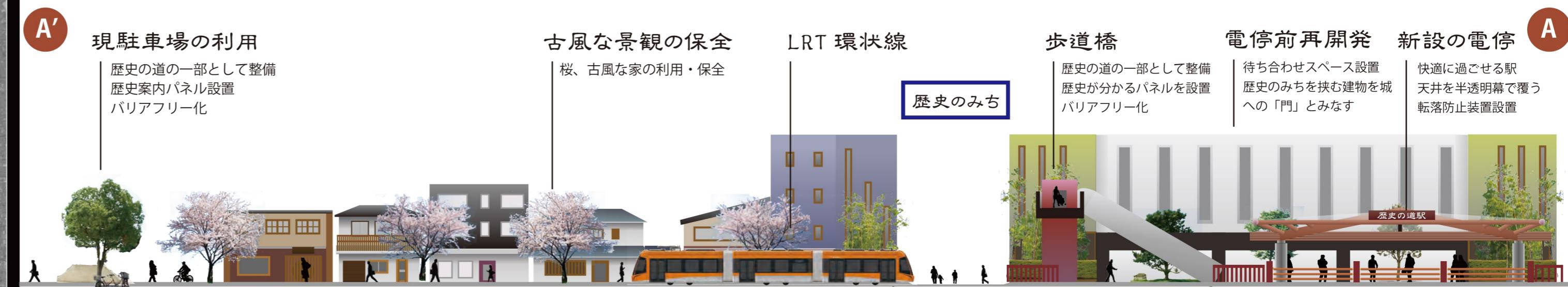
道の四樹、四季を感じる
四つの道へ



人の道、全てを繋ぐ線となる
あなたを導く理想空間

A' - A 立面図 (さくら通り)

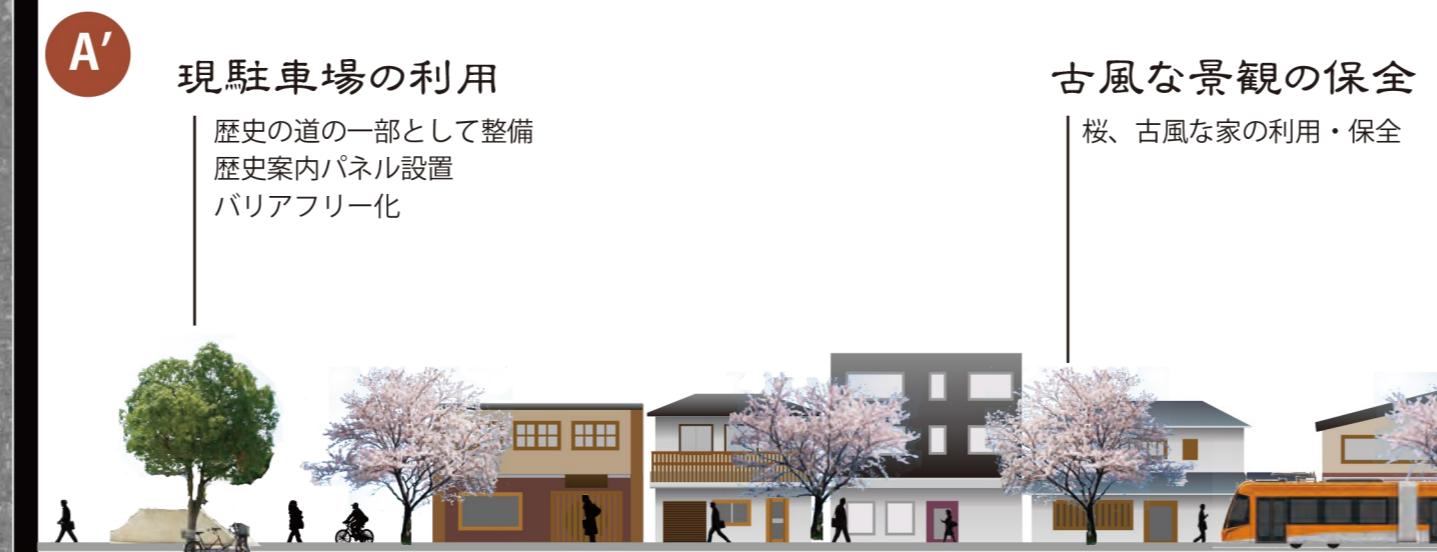
~2050年の福井~



A'

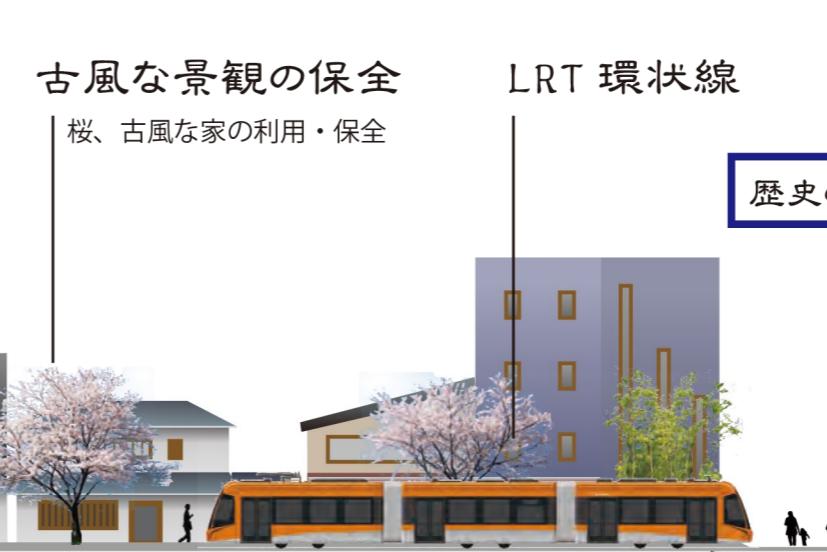
現駐車場の利用

歴史の道の一部として整備
歴史案内パネル設置
バリアフリー化



古風な景観の保全

桜、古風な家の利用・保全

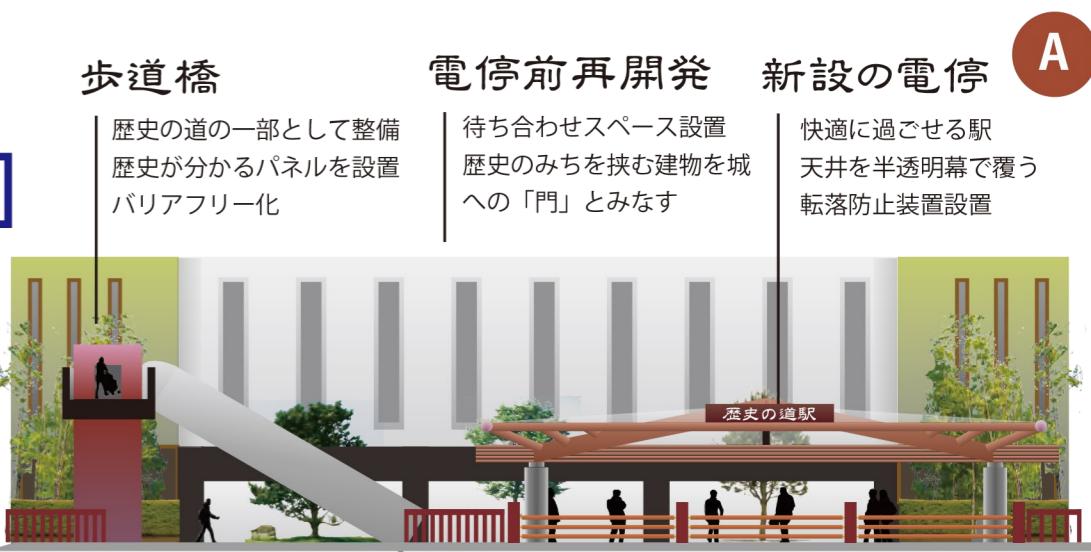


LRT環状線

歴史のみち

歩道橋

歴史の道の一部として整備
歴史のみちを挟む建物を城への「門」とみなす
バリアフリー化



電停前再開発

待ち合わせスペース設置
歴史のみちを挟む建物を城への「門」とみなす

新設の電停

快適に過ごせる駅
天井を半透明幕で覆う
転落防止装置設置

A